

2012年3月6日

mail ニュース

No.7・通巻272

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員
労働組合

発行人 米山隆史
TEL 03-5381-0250

「核兵器・原発なくしたい」

原爆展・署名津々浦々で3・1ビキニデー集会開く

「2012年3・1ビキニデー」の諸行事が2月28日から3月1日の3日間、静岡県静岡市と焼津市で開かれました。

今年のビキニデーのテーマは、「核兵器のない世界へ扉を開こう 非核日本の日本、核被害の根絶をめざして」。2015年核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けて、核兵器のない世界

を求める声が国際社会で大きな流れとなっているもとで、草の根の行動が注目を集めています。このビキニデーは8月の原水爆禁止世界大会に向かう全国的な行動の出発点になりました。

今回、米国、韓国、グアム、マーシャル諸島共和国から5人の海外代表が参加。28日に国際交流フォーラム、29日に日本原水協全国集会の全体集会と八つの分科会、3月1日にビキニ事件犠牲者をしのぶ墓参行進と墓前祭、



ビキニデー集会が開かれました。

1954年3月1日に米国が中部太平洋マーシャル諸島ビキニ環礁で水爆実験をおこなってから58年。「ビキニ事件」は国民的な原水爆禁止運動を生み出す契機となりました。

NPT再検討会議第1回準備会合・4月に向け『核兵器全面禁止のアピール』署名（新アピール署名）と新被爆者写真の「原爆展」の大きなうねりを

29日に開かれた日本原水協全国集会の全体集会では、安井事務局長が基調報告し「私たちが切り開いてきた今日の情勢と運動を確信に、2012年を『核兵器のない世界』の扉を切り開くため、新たな行動に踏み出そう」「そのために、核不拡散条約（NPT）再検討会議第1回準備会合がオーストリアのウィーンで開かれる4月に向け、『核兵器全面禁止のアピール』署名（新アピール署名）と「原爆展」の大きなうねりを全国津々浦々でつくろう」とよびかけました。

1日には、米国の水爆実験でひさいした「第5福竜丸」の母港だった焼津市で、「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」との言葉を残して無くなった同船無線長・久保山愛機遅参への献花墓参行進がおこなわれました。東日本大震災と東京電力福島原発事故からまもなく1年となった行進には全国から1500人以上の参加、行進後日本宗教者平和協議会主催の墓前祭がおこなわれました。

1日午後から開かれた、原水爆禁止世界大会実行委員会と静岡県実行委員会の主催で「3・1ビキニデー集会」が開催され、核兵器廃絶、福島原発事故被害の根絶と原発からの撤退などを掲げて、草の根で行動を広げるアピールを採択しました。

集会全体をつうじて、来賓の各界代表のあいさつ、様々な団体、地域、宗教者・女性・青年などの発言では、「核兵器廃絶」の願いを込めた取り組みで国連を動かし国際的な世論を巻き起こす力になった運動に確信を持ち引き続き取り組みを進める決意が述べられました。

